

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止世界大会が、多くの皆様のご賛同により開催されますことに心から敬意を表します。

74年前の8月に広島と長崎に原子爆弾が投下され、瞬時に十数万人の同胞が犠牲になりました。

当市においては、戦争終結間近の昭和20年に2度の熾烈な艦砲射撃を受け、市街地は壊滅的な被害を受けました。

このような戦争の惨禍を再び繰り返すことのないよう、釜石市は昭和34年に平和都市宣言を、昭和61年に非核平和都市宣言を議決し、世界の恒久平和を強く希求しております。

ここに、皆様と共に平和を祈り、市民として健やかに生き、明日の日本のため、そして世界のために心を合せて努力いたしますことは、まことに意義深いものと存じます。

人類共通の願いである世界の恒久平和に向けて、貴実行委員会の今後の更なるご活躍を心から祈念申し上げます。

令和元年8月

釜石市長 野田武則